

2015年3月2日

Peach は就航 3 周年を迎えました ～4年目もネットワークを拡充し、ますます身近な“空飛ぶ電車”に～

- ・現在、関西空港と那覇空港を拠点に、国内線10路線、国際線7路線を運航
- ・3月29日(日)より、東京(成田)ー札幌(新千歳)、福岡線を開設
- ・誰もが思いもなかった新しい世界の創造に挑戦し続けます

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一、本社:大阪府泉佐野市)は、昨日、就航3周年を迎えました。

Peach は、2012年3月1日に大阪(関西)ー札幌(新千歳)、福岡を結ぶ2路線を1日7往復(14便)で開設しました。現在、国内線10路線、国際線7路線を運航し、これまでにご搭乗いただいたお客様は800万人を超えました。

就航3周年を迎え、Peach 代表取締役 CEO 井上慎一は、「多くのお客様にご利用いただき、3周年を迎えることができたことに、心から感謝申し上げます。2012年3月の就航以来、800万人を超えるお客様にご利用いただき、平均搭乗率は85.1%※となり、就航1年目、2年目と比べ、年々数値が上がっていることから、Peach が“空飛ぶ電車”となり、お客様のライフスタイルの一部として定着しつつあることを実感しております。また、就航からわずか25ヶ月で単年度黒字を実現し、利益を生み出すことができる経営基盤を構築できたことは、LCC ビジネスモデルが、条件さえ整えば事業として成立することを実証いたしました。これからも積極的な路線展開と航空業界の常識を打ち破る新たな取り組みで、誰もが思いもなかった新しい世界の創造に挑戦し続けます」と述べています。

さらに Peach では、3月29日(日)より、成田空港拠点化の第一歩として、東京(成田)ー札幌(新千歳)、福岡線の2路線を開設し、今後は、関西空港、那覇空港、成田空港以外の空港の拠点化も検討してまいります。

Peach は、これからも積極的な路線展開を図り、低運賃による新規航空需要を着実に掘り起こすとともに様々な取り組みを通して新しい価値を提供してまいります。

※2014年4～12月の平均搭乗率